

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス空から		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障害児通所支援歴の長い熟練した職員が多い。	児童との日々の関わりを大切にしている。その中でちょっとした変化や成長した事などを見逃さないよう意識している。	気になる事があればミーティング情報共有を行い児童一人一人にあった支援の検討を強化する。
2	将来（地域移行・自立）を見据えた活動や支援の取り組み	苦手なことはスモールステップでサポートし得意な事は更なる成長を意識。進級したり社会人になり生活していく上で必要な事を活動や支援に取り入れている。	先を見据えた上での今頑張る事を児童と共に明確にしゴールを目指しやすくしている。また将来に目を向ける事で意欲を高め楽しく自主的に動けるような声掛けや行動学習を行なっていく。
3	褒めて伸ばすを大切に。	日々の関わりで【出来た】を大切に見逃さず声掛け。	負の行動の際は見守り行いつつ正の行動に変化できるような声掛けやきっかけ作りを行う。必ず振り返りも行い成功体験で終わられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援への取り組み	最終的な目標は同じでも各家庭の環境や考え方があり事業所側としても提案内容や伝え方など迷う部分がある。	より良い保護者との信頼関係を築けるよう日々のコミュニケーションを大切にする。講習会や勉強会を行い支援に対しての情報や知識の向上を目指す。また保護者会を開催した際など困り事が話しやすい環境作りにも力を入れたい。
2	地域移行への取り組み	地域へ戻るを大切に日々支援を実施している。しかし地域資源や地域の子どもの居る場所との繋がりが少ない。	地域と交流できるような活動を行う為にも地域との連携を大切にする。より幅広いネットワークを構築するために関係作りや日々の視察を強化する。
3	保護者会の開催	開催歴が少なく実施保護者会を行うまでのノウハウが少ない。	開催にあたり、タイミング（休日が良いのか？）場所（大勢が集まれるのか？駐車場は足りるのか？）など細かな所の話し合いが必要。又まずはハードルを下げ懇親会のような気軽に参加しやすい工夫も行いたい。